

(別紙4(2))

医療法人 重眞会
事業所名: グループホームまこと
作成日: 令和1年8月20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	ホームではヒヤリハット及び事故の発生件数を事務室内に掲示し「見える化」を図って、防止のための情報共有は図っているが、ヒヤリハットの情報量が少なく、事故予防につながる分析が明確にできにくい為、職員がヒヤリハットを出しやすくするための書式を工夫するなどが課題である。	ヒヤリハットや気づきの件で記入しやすい付箋紙等にし、危険をすぐに察知できるよう、わずかな事でもヒヤリハットとして記入し、全職員が把握し再発を防止することで、発生件数を減らす。	インシデントやアクシデントを表面的に対策するのではなく、危険だと思った状況や実際に起こったことを記入し全職員が見える箇所に置いておく。又、定期的に集計し、危険箇所や危険事項を全職員が把握し、効果的な再発防止策を立て、効果を確認する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。